



2011 年 10 月 27 日

GE の社会貢献組織「GE ファンデーション」
被災 3 県初の軽自動車ドクターカーを寄贈、仙台空港周辺には LED 道路灯を設置
－ 1,000 万ドルの被災地復興支援策の一環、被災地の医療・交通インフラ整備を支援 －
～ 本日宮城県の村井嘉浩知事に目録を贈呈 ～

日本 GE 株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長兼 CEO:マーク・ノーボン)は本日、GE の社会貢献組織「GE ファンデーション」による、宮城・岩手・福島の被災 3 県における医療・交通インフラ整備に向けた支援状況について発表しました。この支援は、GE 会長兼 CEO のジェフ・イメル트가 4 月上旬に発表した 1,000 万ドル相当の復興支援策の一環として行われるもので、被災 3 県初となる軽自動車のドクターカー[※]「めんこい」の寄贈、ならびに宮城県の県道 20 号仙台空港線における LED 道路灯の設置が含まれます。

GE では 3 月の東日本大震災発生以降、日本における社員を中心とした活動を通じて被災された方々の救済や被災地の復興支援に尽力しており、その過程で被災 3 県の関係者の方々から要望の高かった被災地における医療の強化策として、軽自動車のドクターカー「めんこい」11 台の寄贈を決定しました。被災地である三陸沿岸特有の狭い道や坂道も容易に走行可能な軽自動車のドクターカー「めんこい」には、可搬式の超音波診断装置や心電計、生体情報モニター、骨密度測定装置などの医療機器が搭載されており、被災地域に点在する仮設住宅等への往診等においても、病院・診療所並みの医療機器を活用した診療が可能となります。また、ドクターカー(医師派遣用自動車)として、消防本部の要請があれば、緊急車両としていち早く救急の現場に駆けつけることができ、交通網の寸断により不自由な生活を余儀なくされている被災者の方々の命を一人でも多く守りたいという現場の強いニーズに応えるものと期待されます。なお、ドクターカー寄贈に当たり、東北地方の方言であり、多くの方が覚えやすい「めんこい」という愛称にしました。

加えて、甚大な津波の被害を受けた宮城県には、仙台空港と国道 4 号を結ぶ県道 20 号仙台空港線(仙台空港から 2km までの地点)の道路灯として、屋外 LED 照明 95 本を設置し、交通インフラの再生支援に努めています。LED 照明は、光源の特徴として、色の識別が容易であることに加え、必要な箇所に効率的に光を当てる事が可能なため、消費電力を大幅に削減できるほか、CO₂ 排出量の削減にもつながります(屋外 LED とめんこいの詳細は 3 & 4 ページをご参照ください)。

本日、日本 GE(株)の代表取締役社長兼 CEO のマーク・ノーボンは宮城県庁にて村井嘉浩知事と懇談し、宮城県への寄贈として、「めんこい」5 台と屋外 LED 照明の設備・機器などを含む支援に関する目録を贈呈しました。



目録の寄贈(バックはドクターカー「めんこい」)
右:村井嘉浩 宮城県知事/左:マーク・ノーボン 日本 GE(株)代表取締役社長兼 CEO

今回の寄贈にあたっては、迅速な支援の実現に向け、地方自治体や地元企業などとの緊密な連携を進めさせていただきました。屋外 LED 照明は既に設置が完了し、10 月 1 日より点灯開始しました。また「めんこい」は、宮城県・岩手県に寄贈される 8 台が 11 月中に、福島県に寄贈の 3 台も申請中の認可が取れ次第、運用開始となる見込みです。

なお、GE では「GE ファンデーション」を通じた、1,000 万ドル相当の寄付に加え、同団体と GE 社員のマッチングギフト*2 の合計額 280 万ドルについても別途寄付いたします。

GE では、被災地の一日も早い復興をお祈りするとともに、引き続き更なる支援活動を行っていきます。

*1: ドクターカーとは、消防と連携して(緊急の場合に消防署からの連絡を受けて出動)、医師(ドクター)を運ぶ緊急自動車。車内に十分な医療機器が装備されており、緊急時には医師による車内での診療が可能。めんこいは、被災 3 県では初となる「軽自動車のドクターカー」

*2: マッチングギフトとは、従業員による社会貢献目的の寄付に対して企業が同額の上乗せを行う寄付のこと

###

GE ファンデーションについて

GE の社会貢献組織である GE ファンデーションは、パートナー組織と協働で、米国および海外における災害救援活動や健康・医療、環境、政策、人権といった課題に取り組んでいます。2010 年には、GE グループ全体で約 2 億 2500 万ドルの寄付を行い、このうち 1 億ドル超は GE ファンデーションによるものでした。詳細は、www.gefoundation.com をご覧ください。

GE について

GE は、世界各国においてインフラストラクチャーおよび金融の分野で事業を展開し、世界が直面している困難な課題の解決に貢献しています。航空機、発電をはじめ、金融サービスやヘルスケア・ソリューション、石油・ガス、鉄道事業にいたるまで、幅広い商品とサービスを、世界 100 カ国以上のお客さまに提供しており、約 30 万人の従業員を擁しています。詳細は、GE のホームページをご覧ください。GE は、日本においても 100 年以上にわたって事業展開しており、社員は約 5,000 人を数えます。日本における GE の事業・活動等については、<http://www.ge.com/jp/> をご覧ください。

＜本件に関するお問い合わせ先＞
日本 GE (株) 広報 TEL : 03-3588-9500
日本 GE 広報代理 (ボックスグローバル・ジャパン (株) 内)
杉山・田邊・フット TEL : 03-6204-4320

【別添資料 1】ドクターカー「めんこい」概要

1. 車両概要



サイズ: 3395 mm (全長) × 1475 mm (全幅) × 1980 mm (全高)
めんこい: 「可愛い」「愛らしい」を意味する東北地方の方言



広い車内スペース:
左端はストレッチャー

特長

- 超音波診断装置などの医療機器を搭載した緊急自動車で、被災 3 県では初の「軽自動車のドクターカー」(医師派遣用自動車)
- 小型で運転しやすく、仮設診療所のある高台から往診先までの狭い道や坂道も容易に走行可能
- 広い荷物スペースを有し、高性能でコンパクトな医療機器(「3」参照)のみならず、ストレッチャーや非常用電源も装備

2. 導入先(全 11 台)

No.	県	導入先	台数	No.	県	導入先	台数
1	宮城県	石巻市(雄勝・橋浦・田代)	3 台	7	福島県	川内村	1 台
2	宮城県	南三陸町	1 台	8	福島県	富岡町	1 台
3	宮城県	気仙沼市	1 台	9	福島県	浪江町	1 台
4	岩手県	宮古市／山田町	1 台				
5	岩手県	釜石市／大槌町	1 台				
6	岩手県	大船渡市／陸前高田市	1 台				

3. 搭載装置(予定)

No	カテゴリー	製品名および薬事情報	外観写真
1	超音波診断装置	GE ヘルスケア製 LOGIQ e (ロジック・イー) 医療機器認証番号: 218ABBZX00060000	 左: LOGIQ e 下: Vscan 
2	超音波診断装置	GE ヘルスケア製 Vscan (ヴィスキャン) 医療機器認証番号: 221ABBZX00252000	
3	心電計(解析機能付)	GE ヘルスケア製 MAC800 (マック 800) 医療機器認証番号: 220ACBZX00105000	 左: MAC800 下: A-1000 EXP II 
4	超音波骨密度測定装置	GE ヘルスケア製 A-1000 EXP II (エーゼン・イー・エックス・ピー・ツー) 医療機器承認番号: 223ABBZX00015000	
5	生体情報モニター	GE ヘルスケア製 DASH 3000 (ダッシュ 3000) 医療機器承認番号: 21200BZY00522000	 左: DASH 3000 下: AED-2100 カギオライフ 
6	AED (自動体外式除細動器)	日本光電工業(株)製 AED-2100 カルジオライフ 医療機器承認番号: 22100BZX00362000	
7	生化学検査装置	富士フイルム(株)製富士ドライケム 4000 薬事届出番号: 14B2X10002000096	 左: 富士ドライケム 4000 下: IMMUNO AG1 
8	感染症診断機器	富士フイルム(株)製 IMMUNO AG1 (イムノ AG1) 薬事届出番号: 14B2X10002000104	

【別添資料 2】 屋外 LED 照明 ～被災地の交通インフラ整備を支援～

この度、GE では、東日本大震災により甚大な被害を受けた宮城県の県道における LED 道路灯 95 本（設置に必要なポール等の調達、および地元企業への工事費用等を含む）を寄贈しました。寄贈された LED 道路灯は、2011 年 9 月 30 日に設置工事が完了し、10 月 1 日から仙台空港と国道 4 号（宮城県名取市植松）を結ぶ宮城県道 20 号仙台空港線で使用されています。

【寄贈 LED 照明器具概要】

製品内容	GE 製品概要
LED 道路灯	R250 シリーズ「ERMS-2-S2-60」 計 95 本 (78W/ 5m: 24 本, 118W/ 8m: 18 本, 178W/ 12m: 53 本)

【LED 道路灯設置箇所】

仙台空港と国道 4 号を結ぶ県道 20 号仙台空港線のうち、仙台空港から約 2km の地点まで
(住所：宮城県名取市下増田字南原～岩沼市下野郷)



左：
LED 道路灯点灯時の県道 20 号仙台空港線の様子
(撮影：2011 年 10 月)

【消費電力・CO2 排出量】

LED 照明器具は、水銀灯照明器具と比較し、消費電力を大幅に削減できることが特徴であり、またそれにより CO2 排出量の削減にもつながります。

当社比：1 日あたりの消費電力および CO2 排出量

	水銀灯照明器具 注意 1	R250 シリーズ「ERMS-2-S2-60」	削減量
消費電力 (KWh)	468.7 注意 2	121.4 注意 3	74%の削減
CO2 排出量	1,429.9Kg	370.4kg	74%の削減

※上記は、計算上の数値であり、実際の消費電力および CO2 排出量と異なりますのでご了承ください。

注意 1：従来設置されていた水銀灯と同等クラスの自社製品と比較した際の値

注意 2：633W、403W、460W の照明器具、計 95 本を 1 日 9 時間使用した際の値

注意 3：GE が寄贈した 178W、118W、78W の LED 照明器具、計 95 本を 1 日 9 時間使用した際の値

※設置に際して、自治体や地元企業との緊密な連携を取らせていただきました。照明事業部において販売契約を締結しているアイリスオーヤマ株式会社には、地元の工事手配や、許認可手配、物流のアレンジをご協力いただいたほか、施工にあたっては、地元工事会社の窪田電気工事株式会社にご担当いただきました。

【別添資料 3】GE ファンデーション概要

GE の社会貢献組織である GE ファンデーションは、パートナー組織と協働で、米国および海外における災害救援活動や健康・医療、環境、公共政策、人権、災害救済など、世界の様々な場所において、地域社会の発展に向けた支援を行っています。また、GE ファンデーションは、「GE ファンデーション マッチングギフト（従業員による社会貢献目的の寄付に対して企業が同額の上乗せを行う寄付のこと）」などのプログラムを通し、GE の社員や退職者が寄付をすること、および GE コミュニティに關与するサポートを行っています。

【GE ファンデーション のプライオリティ】

● Developing Futures™ in Education

「Developing Futures™ in Education」（教育の未来を育む）プログラムを通じ、GE ファンデーションは、米国内 7 つの学区に対し約 2 億ドルの資金を拠出、厳格な数学および科学のカリキュラムを通じて学業の向上を図り、教師や管理職の能力を高める専門的能力開発の機会を提供しています。現在、GE ファンデーションが米国の学区に対し行った資金援助の内容は、以下の通りです。

- ジョージア州アトランタ: 2,200 万ドル(学生 50,631 人、教師 3,400 人、学校 104 校)
- オハイオ州シンシナティ: 2,000 万ドル(学生 35,000 人、教師 2,600 人、学校 62 校)
- ペンシルバニア州エリー: 1,500 万ドル(学生 12,637 人、教師 850 人、学校 21 校)
- ケンタッキー州レイビル: 5 年間で 3,500 万ドル(学生 97,000 人、教師 5,000 人、学校 155 校)
- ニューヨーク州ニューヨークシティ: 5 年間で 1,890 万ドル(学生 110 万人、教師 79,000 人、学校 1,450 校以上)
- コネチカット州スタンフォード: 5 年間で 2,500 万ドル(学生 15,000 人、教師 1,400 人、学校 20 校)

● Developing Health™

GE ファンデーションは、全米にある非営利の医療センターに対し 3 年間で 5,000 万ドルの寄付金を提供し、これらに対する GE 社員のボランティア支援を促進する「Developing Health（健康増進）」プログラムを立ち上げました。このプログラムは、対象コミュニティにおいて十分なサービスを受けられない人々も、プライマリーケアを受けられるようにすることを目指しています。

● Developing Health Globally™

GE ファンデーションは、「Developing Health Globally（世界健康増進）」プログラムを立ち上げました。このプログラムの目的は、世界で最も弱い立場にある人々に対する医療提供を改善することです。農村地域の病院や医療センターの能力を向上させるために支援を提供しています。現在、以下の地域のニーズに応えています。

- | | | | |
|-------------------|------------------|----------------|---------------|
| ・ジョージア州アトランタ | ・メリーランド州ボルティモア | ・オハイオ州シンシナティ | ・ペンシルバニア州エリー |
| ・コネチカット州フェアフィールド郡 | ・サウスカロライナ州グリーンビル | ・テキサス州ヒューストン | ・ケンタッキー州レイビル |
| ・ウイスコンシン州ミレウォーキー | ・ルイジアナ州ニューオーリンズ | ・ニューヨーク州ニューヨーク | ・ユタ州ソルトレイクシティ |
| ・ニューヨーク州スケネクタディ | | | |

● 社員プログラム

- 2010 年の寄付金は総額 3,800 万ドルに達しています。
- ユナイテッド・ウェイ(募金を各非営利団体に分配する組織): GE 社員および退職者は、全米で 200 を超えるユナイテッド・ウェイ機関を支援しています。2010 年の募金総額は 2,790 万ドル(社員: 1,860 万ドル、GE ファンデーション: 930 万ドル)でした。

- GE STAR Awards: GE ファンデーションの「GE STAR Awards」は、世界中の GE 社員および退職者の子弟の素晴らしい業績を表彰して大学初年度の学費を助成するというものです。2011 年は、275 人の学生が GE STAR Awards を受賞しています。

● 災害救済

災害発生時に、GE グループは、資源や社員を現地に送り、被害を受けたコミュニティの援助を行っています。GE ファンデーションは、寄付金の形で、また、GE ファンデーション マatchingギフト制度を通じて、救済機関に資金援助を行っています。さらに、GE ボランティアが災害現場のネットワークを通じて現地の支援をまとめ、地域における社員を調整すべく活動します。災害救済支援のパートナーには、GE 社員、国際赤十字、UNICEF、CARE、国際救済委員会、国際医療隊などが挙げられます。以下は、GE ファンデーションが最近行った災害救済支援の例です。

● 東日本大震災と津波(2011 年 3 月)

GE ファンデーションは、救済に向け、1,000 万ドル相当の寄付を行いました。さらに震災および津波に対する災害救済を行う機関に 41 カ国の GE 社員が約 140 万ドルの現金の寄付を行いました。GE ファンデーション マatchingギフトを併せると寄付総額は約 280 万ドルとなります(2011 年 10 月現在)。

● パキスタンの洪水(2010 年 7 月)

GE ファンデーションは、総額で 125 万ドルを救済基金に授与しました。また、緊急の救助活動を支援するため、25 万ドルが国際救済委員会、国際赤十字赤新月社連盟に送られました。同地域における食糧不足に対する懸念が高まる中、切望される食糧援助を提供するため、追加で 100 万ドルが世界食糧計画に送られました。

● チリ地震(2010 年 2 月)

GE は、人道支援のため、200 万ドルを提供すると発表しました。当該コミットメントの一環として、125 万ドルがチリの緊急時対応ニーズに応えるために送られました。残りは、災害発生後、いち早く支援を提供する米国赤十字災害対策基金に寄付されました。

● 各種国際プログラム

GE ファンデーションは、不均衡を減らし、教育の質やアクセスを改善し、持続可能なインフラ開発を保証するため技術をもつめるイニシアチブに資金を提供しています。現在アフリカ各地での女子教育プログラム、中国の保健安全(EHS)アカデミー、ガーナでのメディカル・ベストプラクティス・エクスチェンジ・プログラムなどのイニシアチブに資金を提供しています。

● 公共政策

GE ファンデーションは、公共政策のダイアログを強化するイニシアチブに資金を提供しています。この分野における支援は、主要な利害関係者との建設的なダイアログを奨励するものです。この関与により、GE ファンデーションは、重要な政策のジレンマに対する有効なソリューションに向け邁進するため、次の政策問題を探し出し、それらについて学ぶことができます。

● 寄付金総額

2010 年、ビジネス、社員、退職者、GE ファンデーションを含む GE グループは、およそ 2 億 5,910 万ドル以上を地域社会や教育プログラムに寄付しています。このうち GE ファンデーションは、1 億 1,000 万ドル以上を拠出しています。